

県民暮らしのアンケート調査

(2018年8月実施)

香川県民の暮らし向きや消費の実態・意識を把握するために、「県民暮らしのアンケート調査」を実施した。

調査結果の概要

- I- 1. 現在の県内景気：「(やや)良くなった」と回答した人は、7.5%から9.4%に増加。
「(やや)悪くなった」は、17.0%から15.1%に減少。
2. 1年後の県内景気：「(やや)良くなっている」と回答した人は、11.3%から12.8%に増加。
「(やや)悪くなっている」は、21.2%から20.7%に減少。
- II- 1. 現在の収入：「(やや)増えた」と回答した人は、12.9%から16.1%に増加。
「(やや)減った」は、33.3%から29.4%に減少。
2. 1年後の収入：「(やや)増える」と回答した人は、12.7%から11.7%に減少。
「(やや)減る」は、29.5%から31.2%に増加。
- III- 1. 現在の物価：「(やや)下がった」と回答した人は、2.6%から3.0%に増加。
「(やや)上がった」は、49.0%から55.1%に増加。
2. 1年後の物価：「(やや)下がっている」と回答した人は、2.5%から3.0%に増加。
「(やや)上がっている」は、50.3%から53.6%に増加。

アンケート調査概要

1. 調査期間：2018年8月23日～8月27日
2. 調査対象：香川県内在住の20歳以上の男女
3. 調査方法：インターネット調査（調査会社のモニターによる回答）
4. 有効回答数：531人
5. 回答者の構成と属性

■年代別・性別

	計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	73	13.8%	37	7.0%	36	6.8%
30代	106	20.0%	53	10.0%	53	10.0%
40代	115	21.7%	55	10.4%	60	11.3%
50代	112	21.1%	57	10.7%	55	10.4%
60代以上	125	23.6%	62	11.7%	63	11.9%
合計	531	100.0%	264	49.7%	267	50.3%

■世帯の年収別

	人数	構成比
300万円未満	78	14.7%
300～500万円未満	140	26.4%
500～700万円未満	114	21.5%
700～1000万円未満	54	10.2%
1000万円以上	41	7.7%
答えたくない・わからない	104	19.6%
合計	531	100.0%

■世帯主の職業別

	人数	構成比
会社員	261	49.2%
公務員	36	6.8%
自営業	58	10.9%
パート、アルバイト	49	9.2%
専業主婦(専業主夫)	10	1.9%
無職	104	19.6%
その他	13	2.4%
合計	531	100.0%

■世帯の人員別

	人数	構成比
1人	67	12.6%
2人	171	32.2%
3人	140	26.4%
4人	97	18.3%
5人	36	6.8%
6人	11	2.1%
7人以上	9	1.7%
合計	531	100.0%

■住宅の種類別

	人数	構成比
持家(一戸建て)	344	64.8%
持家(マンション等)	50	9.4%
社宅	22	4.1%
借家	115	21.7%
合計	531	100.0%

(注)四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない場合がある。(以降、本文中の図表も同様)

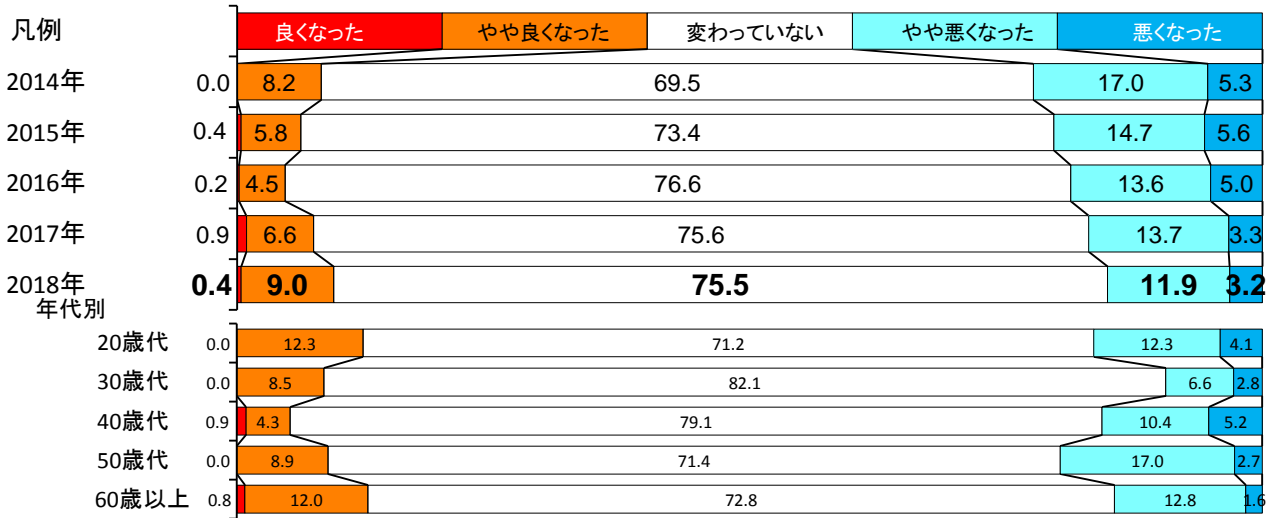
I. 香川県内の景気について

1. 現在の景気（1年前と比べて）

現在の景気について尋ねたところ、「良くなった」・「やや良くなった」と回答した人の割合は、昨年の7.5%から9.4%となり、1.9ポイント増加した。「悪くなった」・「やや悪くなった」は、昨年の17.0%から15.1%となり、1.9ポイント減少した。景気が良くなっているとした人の割合が増加し、悪くなっているとした人の割合が減っている。

過去5年の動向では、悪くなっているとした人の割合は減少傾向にあり、県民の景況感は改善していることがうかがえる。

Q: 1年前と比べて、現在の香川県内の景気は良くなったと思いますか、悪くなったと思いますか。 (%)

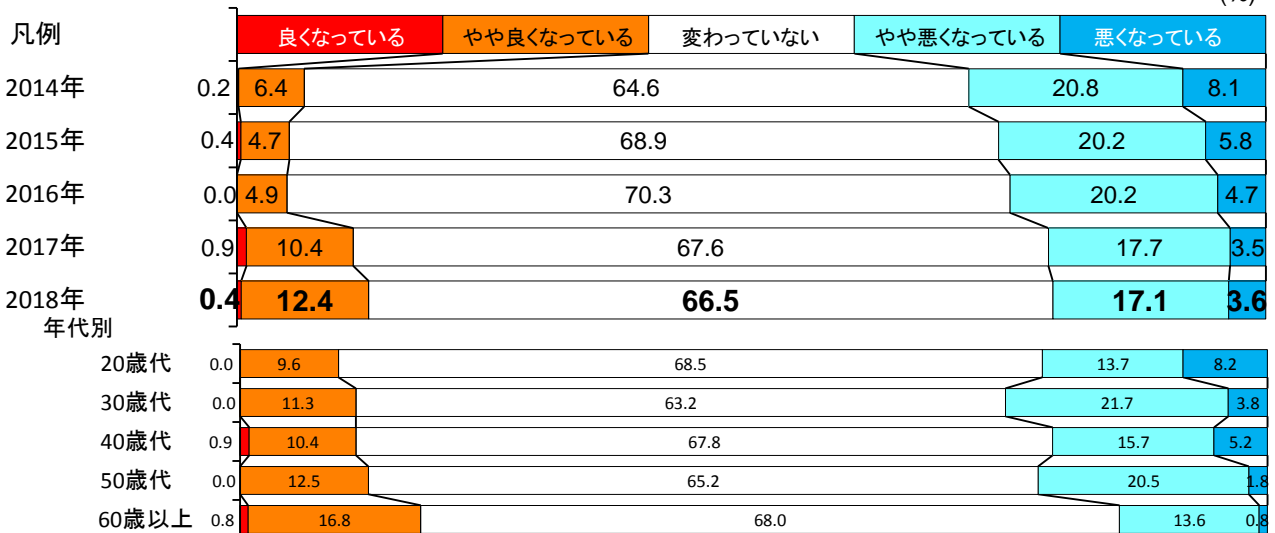


2. 1年後の景気

1年後の景気について尋ねたところ、「良くなっている」・「やや良くなっている」と予想した人の割合は、昨年の11.3%から12.8%となり、1.5ポイント増加した。「悪くなっている」・「やや悪くなっている」は、昨年の21.2%から20.7%となり、0.5ポイント減少した。

1年後の景気が改善するとした人の割合が増加する一方、悪化するとした人は減少しており、先行きも県民の景況感は改善することが見込まれている。

Q: 1年後の香川県内の景気は、現在と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 (%)



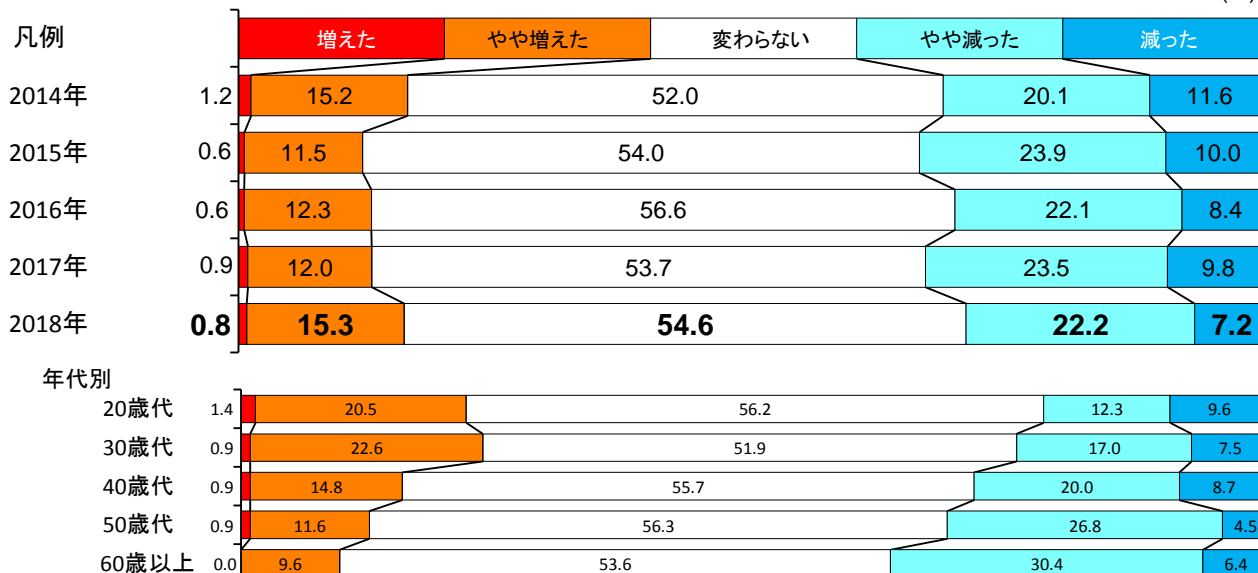
Ⅱ. 世帯の収入と支出について

1. 現在の収入（1年前と比べて）

現在の収入について、1年前と比べてどうなったかを尋ねたところ、「増えた」・「やや増えた」と回答した人の割合は、昨年の12.9%から16.1%となり、3.2ポイント増加した。「減った」・「やや減った」は、33.3%から29.4%となり、3.9ポイント減少した。

Q: お宅の収入は、1年前と比べてどうなりましたか。

(%)

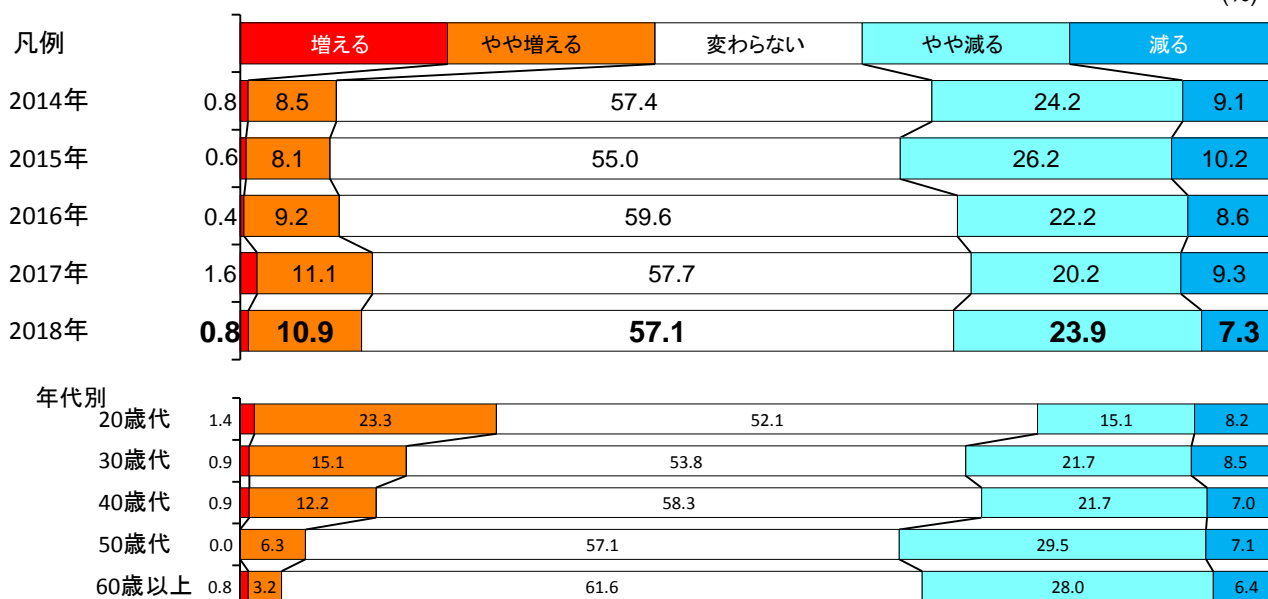


2. 1年後の収入

1年後の収入について、今と比べてどうなるかを尋ねたところ、「増える」・「やや増える」と予想した人の割合は、昨年の12.7%から11.7%となり、1.0ポイント減少した。「減る」・「やや減る」は、昨年の29.5%から31.2%となり、1.7ポイント増加した。

Q: お宅の収入は、今後1年間で、今と比べてどうなると思いますか。

(%)

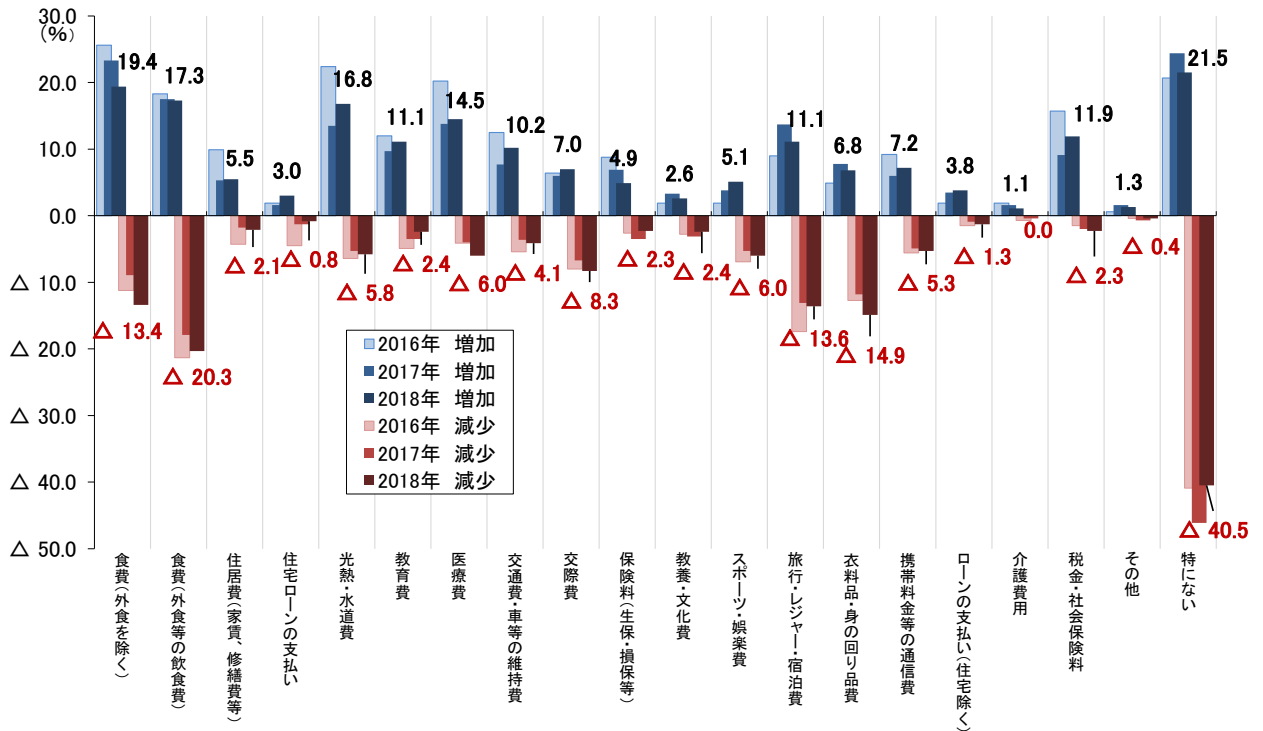


3. 支出の増減

この1年で「支出が増加した費目」について尋ねたところ、「食費（外食を除く）」が19.4%と最も多く、次いで「食費（外食等の飲食費）」が17.3%、「光熱・水道費」が16.8%であった。

一方「支出が減少した費目」は、「食費（外食等の飲食費）」が20.3%と最も多く、次いで「衣料品・身の回り品費」が14.9%、「旅行・レジャー・宿泊費」が13.6%であった。

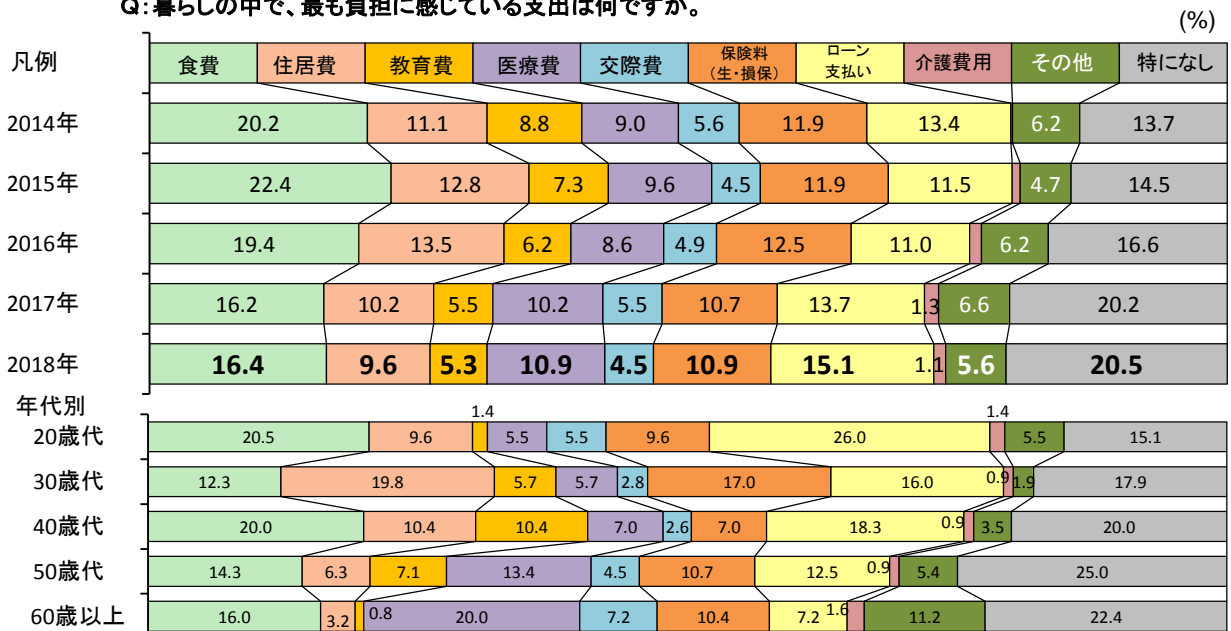
Q:この1年間で「支出が増加した費目」また、「支出が減少した費目」は何ですか。



4. 最も負担に感じている支出

暮らしの中で、今、最も負担に感じている支出について尋ねたところ、「特になし」が20.5%と最も多く、次いで「食費」が16.4%、「ローンの支払い」が15.1%であった。

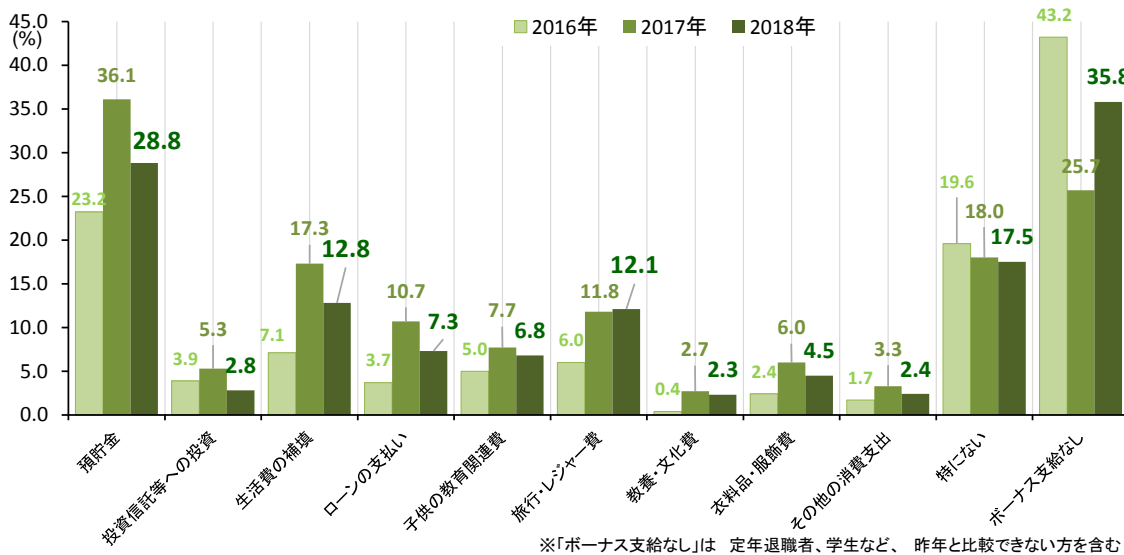
Q:暮らしの中で、最も負担に感じている支出は何ですか。



5. 今年の夏のボーナスの使い方

今年の夏のボーナスの使い方、昨年と比べて金額を増やしたもの（増やそうと思うもの）について尋ねたところ、「預貯金」が 28.8%と最も多く、次いで「生活費の補填」が 12.8%、「旅行・レジャー費」が 12.1%であった。

Q:夏のボーナスの使い方金額を増やしたもの(増やそうと思うもの)は何ですか。



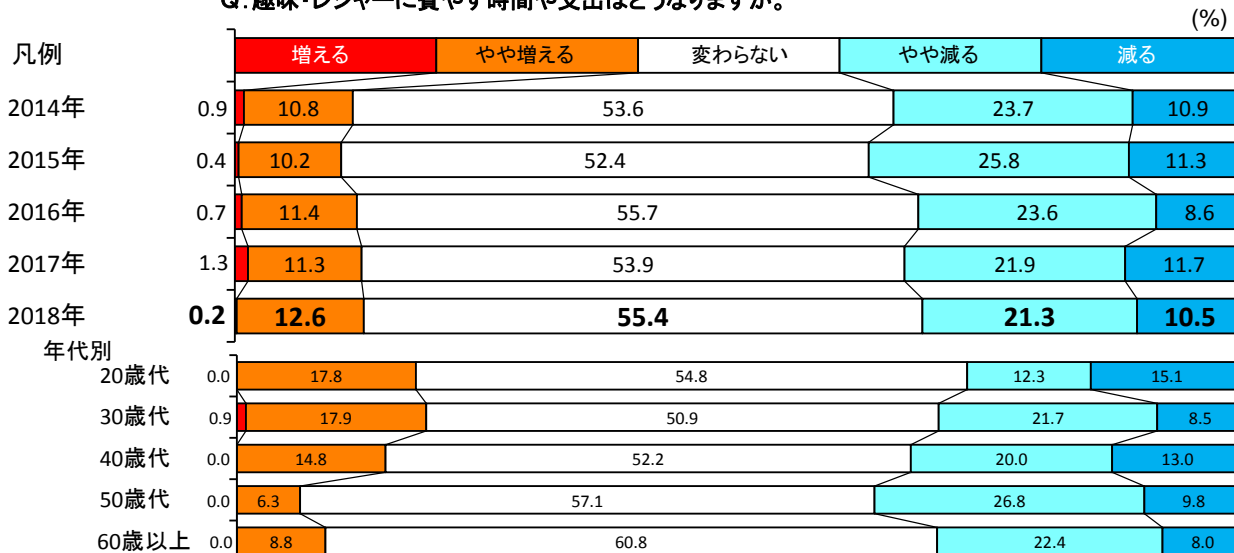
2018年 年代別

	預貯金	投資信託等への投資	生活費の補填	ローンの支払い	子供の教育関連費	旅行・レジャー費	教養・文化費	衣料品・服飾費	その他	特にない	ボーナスの支給なし
全体(右)	28.8	2.8	12.8	7.3	6.8	12.1	2.3	4.5	2.4	17.5	35.8
20-29歳	30.1	4.1	9.6	13.7	4.1	15.1	1.4	5.5	2.7	19.2	30.1
30-39歳	37.7	4.7	17.0	8.5	9.4	15.1	4.7	5.7	1.9	18.9	19.8
40-49歳	40.9	3.5	16.5	7.8	13.9	18.3	3.5	5.2	6.1	17.4	20.9
50-59歳	29.5	0.9	11.6	7.1	5.4	8.0	0.9	3.6	1.8	19.6	37.5
60歳以上	8.8	1.6	8.8	2.4	0.8	5.6	0.8	3.2	0.0	13.6	64.8

6. 趣味・レジャーに費やす時間や支出

趣味やレジャーに費やす時間や支出は、今後1年間で、今と比べてどうなるか尋ねたところ、「変わらない」が 55.4%と最も多く、次いで「やや減る」が 21.3%、「やや増える」が 12.6%であった。

Q:趣味・レジャーに費やす時間や支出はどうなりますか。

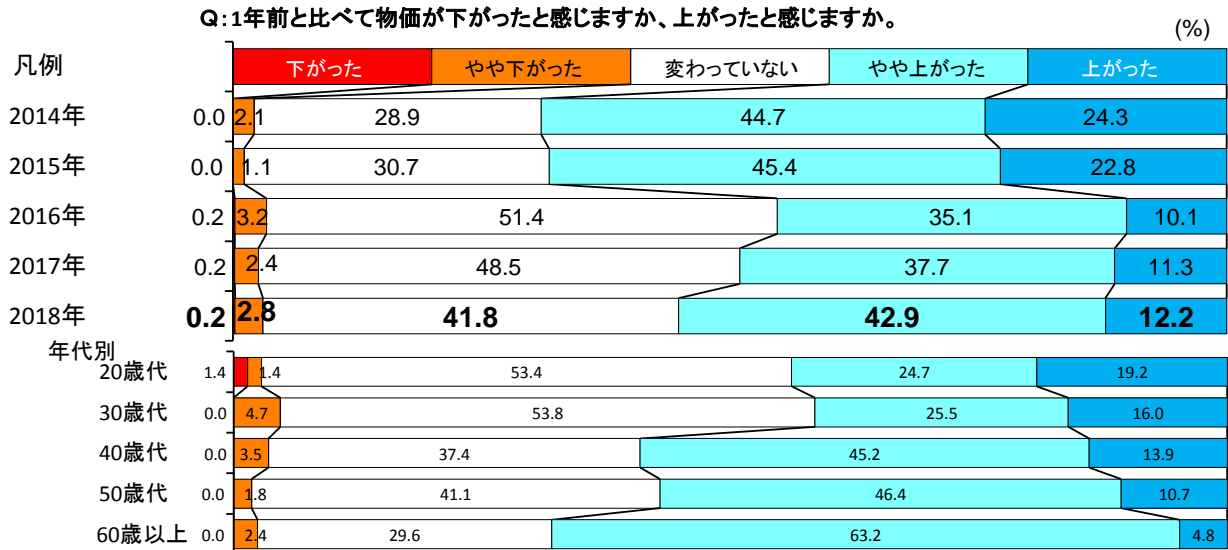


Ⅲ. 物価について

1. 現在の物価（1年前と比べて）

物価について尋ねたところ、1年前と比べて「下がった」・「やや下がった」と回答した人の割合は昨年の2.6%から3.0%となり、0.4ポイント増加した。「上がった」・「やや上がった」は、昨年の49.0%から55.1%となり、6.1ポイント増加した。

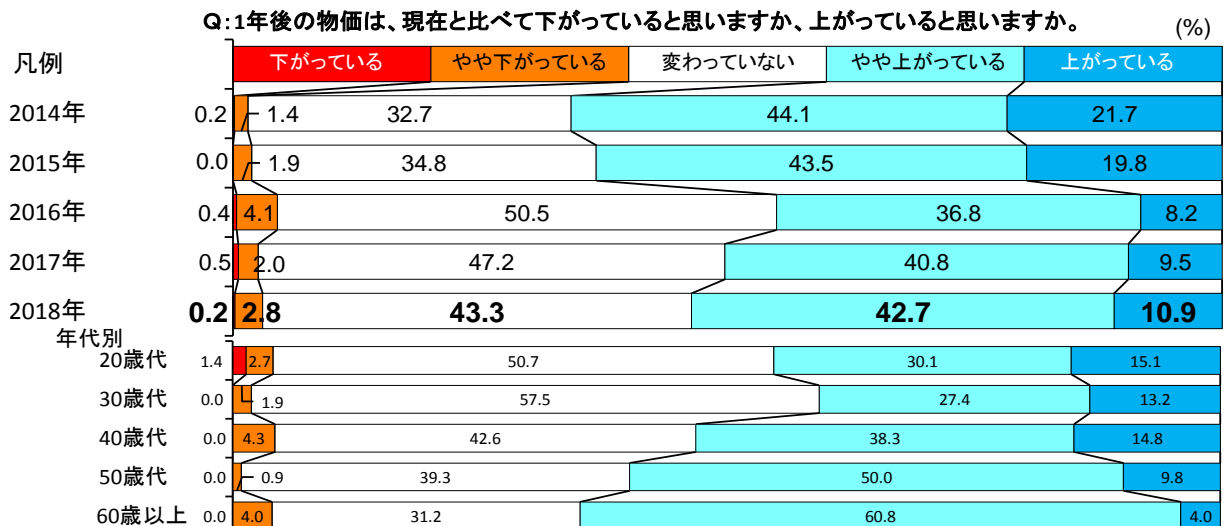
物価については、上がったと感じている人の割合が、下がったと感じている人の割合を大きく上回った。2014年の消費増税後に「上がった」が顕著に増えていることを除いても、生活の中で購入するモノ、サービスの値上がりを感じている人は多いようだ。



2. 1年後の物価

1年後の物価について尋ねたところ、「下がっている」・「やや下がっている」と予想した人の割合は、昨年の2.5%から3.0%となり、0.5ポイント増加した。「上がっている」・「やや上がっている」は、昨年の50.3%から53.6%となり、3.3ポイント増加した。

1年後の物価についても、上がると予想した人の割合が、下がると予想した人を上回っており、半数以上の人々が物価の上昇が続くと見込んでいる。



(百十四経済研究所 村尾・後藤)